

2023年1月27日作成

Ver.1.1

## 脳血流シンチグラフィの定量画像と非定量画像の互換性の検討

### 1、研究の目的と意義

脳血流シンチグラフィは認知症や脳血管障害の診断に非常に高い有用性を持った検査です。通常は脳への放射性医薬品の相対的な分布（非定量画像）を用いて診断を行います。脳血管障害の診断のためには、脳血流の絶対値の画像（定量画像）に変換することでより精度の高い診断を行うことが出来るとされています。ただし、非定量画像を定量画像に変換するためには、動脈から血液を採るなどの不快感の強い手段をとる必要があり、また検査も煩雑になります。非定量画像から定量画像に迫る情報を得ることが出来れば、検査がより簡単で痛みの少ない物に出来る可能性があります。本研究では、脳血流の定量画像と非定量画像を対比することで、非定量画像で定量画像に迫る有用な情報が得られるかを評価します。

### 2、対象となる患者さん

長崎大学で行われた脳血流シンチグラフィ検査のうち、脳血流定量画像の解析可能な生データが保管されている2016年1月1日以降2022年12月31日までの全員を対象とします。

### 3、研究の方法

脳血流シンチグラフィの定量画像と非定量画像を画像解析の技術を用いて解析して、非定量画像から定量画像と同等かそれに近い情報を得られるかを評価します。

### 4、研究に用いる情報

- ・性別、年齢、原疾患、原疾患
- ・脳血管障害の治療法（治療が行われた場合）
- ・脳血管障害症状の有無
- ・白血球数、赤血球数、血小板数
- ・脳血流シンチグラフィ
- ・CT・MRI 所見
- ・脳血流改善薬、過灌流症候群治療薬の投与歴の有無

### 5、研究期間

研究機関長の許可日～2025年3月31日

### 6、外部への情報の提供

該当無し

### 7、研究実施体制

この研究は長崎大学病院のみで実施する研究です。

〈研究責任者〉

長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野  
(長崎大学病院 PET 分子イメージングセンター) 工藤 崇

## 8.お問い合わせ先

長崎大学 原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野  
(長崎大学病院 PET/分子イメージングセンター) 工藤 崇

住所：長崎県 長崎市 坂本 1 丁目 12 番 4 号

電話：095-819-7101 (原爆後障害医療研究所 アイソトープ診断治療学研究分野)

【ご意見、苦情に関する相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く)

苦情相談窓口：医療安全課 095 (819) 7616

受付時間 : 月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)